

大阪市 今昔物語

今も生きる「在野の町人学者」 町人文化人」の伝統

大阪城の石垣に刻まれた無数の符号、一般に石垣刻印と呼ばれているものについて、徹底的に調べ上げた民間グ



大阪城の石垣(巨石) 大手二番石

ループ「築城史研究会」のリーダーで、そろばん塾経営者の藤井重夫さん(東大阪市、故人)、『日本の古銃』・『和時計』

などの著者として知られる日本鉄砲史研究者・古銃砲収集家の整骨院長澤田平さん(大阪市東成区)。お二人とも学歴や学会などとは無関係に本職のかたわらで築き上げた実績の

大きさが注目されます。

『大阪平野のおいたち』を著わした元・十三郵便局長梶山彦太郎さん(東淀川区、故人)や『日本郵便発達史』などの大著を著わした元・高麗橋三郵便局長藪内吉彦さん(奈良県在住)。さらに、「上方芸能」編集長から立命大教授に抜擢された木津川計さん(住吉区)は元・町の印刷屋さんだったし、府立図書館司書から関大教授に抜擢された根っからの大阪市民肥田皓三さん(池田市)の例もある。大阪では今も江戸時代以来の伝統が生きているのです。

実力ある人材いっぱい

大阪というのは、実力のある人材がいっぱい隠れている

こわいところだと私は痛感しました。

そんな伝統もあるのに、「ウソで勝てる人間でないと政治家も弁護士もつとまらない」などと口にするような安手の人物が市長になった大阪市。まさに災難です。

災難から脱出のチャンス

しかし、今度の住民投票は、そんな災難から脱出するいいチャンスです。表向きはそれぞれの商売にいそしむ一見平凡な市民が、じつは下手な学者や文化人顔負けの学識や見識を持っているというのが大阪人の良き伝統だとしたら、「ぼくちゃん負けた！」の日は近い、のでは?!

元大阪城天守閣館長 渡辺武



……お初天神……

近松門左衛門の名作「曾根崎心中」の遊女お初にちなんで「お初天神」と呼ばれています。本殿は戦災で消失し、鳥居には弾痕の跡が残ります。



今日の特集

平和が一番！ 憲法を守るための 発信を

大阪から

今年は、戦後70年の節目の年です。この間、自衛隊は、一人も他国の人を殺していません。一人の戦死者も出していません。憲法9条が歯どめとなってきたからです。

いま、集団的自衛権の行使容認の閣議決定をし、海外で戦争できるようにする法律づくりなど、憲法の制約をとりはらう動きが急になっています。

私たちは「やっぱり平和が一番」「ぜったい戦争アカン」「憲法9条をいかにした平和外交を」と世論づくりと運動をすすめています。

ところが橋下市長が、大阪都構想は憲法改正の予行練習と発言しました。市民から、それはアカンやろ！の声があがっています。

(二面に続く)



「住民投票」で棄権すると、「賛成」したことになってしまいます。「棄権は危険、ぜひ投票へ行き、「反対」とお書き下さい。

よみがえれ
大阪
大阪市をよくする会の見解をお知らせします。

「大阪市をよくする会」機関紙 2015年 4月30日 第388号
〒530-0041 大阪市北区天神橋1-13-15 大阪グリーン会館3階
TEL (06) 6356-2047 FAX (06) 6357-5303
HP : <http://yokusurukai.com> Mail : yokusurukai@nifty.com
大阪市をよくする会は、大商連、大阪労連、民医連、新婦人、日本共産党、陣連協、大生連、大信連、民青、民権連、年金者組合などで構成されています。

毎日 I LOVE
OSAKA
大阪

大阪市をよくする会 検索

「大阪市」なくしてどーなる大阪③

『都』構想は改憲の予行練習』（橋下市長）

それは、どないやの！

昨秋の大阪市議会で否決された「協定書」が復活し、住民投票が行われることになりました。背景に、官邸が動いたことがあります。

橋下市長は、「**憲法改正は絶対必要**」と言い、今回の「都」構想の住民投票を、**憲法改正国民投票の予行練習**と言います。

市民のくらしと営業に大きな影響を与える大阪市の解体、廃止をこんな形ですすめるのは大問題です。マスコミからも批判されています。

5月17日の住民投票では「反対」と書いて、こんなやり方でも、平和憲法こわしも許さないの意思を示しましょう。

北海道新聞社説

大阪都構想

住民投票は拙速すぎる

大阪府と大阪市の合併協議が、大阪府の「合併協議会」で、5月17日に開かれた。府民投票の是非を問う住民投票の予行練習、と橋下市長は言う。だが、府民投票は、住民投票の予行練習、と橋下市長は言う。だが、府民投票は、住民投票の予行練習、と橋下市長は言う。

「都構想」改憲占う

維新浮沈 永田町も注視

27日に開かれた「大阪都構想」の住民投票の是非を問う住民投票の予行練習、と橋下市長は言う。だが、府民投票は、住民投票の予行練習、と橋下市長は言う。

（4月28日「産経」）

筋が通らぬ承認手続き

（1月14日「毎日」）

政治的取引の材料にするのであれば認められない。

草の根から全国と世界に発信

戦争する国づくり許せません！

「愛と平和の女子パレード」



大阪府や関西の女性らでつくる市民グループ「PEACE WEST WOMEN」が「戦争アカン！」と訴えて御堂筋をパレードしました。

核兵器の全面禁止を！

ニューヨークで訴え



ニューヨーク国連本部で開かれる第9回核拡散防止条約再検討会議。国際共同行動に「核兵器禁止条約を大阪から求めます」と約百万人の署名とともに大阪代表団が参加、ニューヨークをパレードしました。（写真：4月26日）

こんな発言
市長として
資格が問われます



「（震災がれき処理が進まないのは）
全ては憲法9条が原因だ」

（2012年2月24日）

「憲法9条とは、突き詰めると平和には何も労力がいらぬ、自ら汗はかかない、そういう趣旨だ」
「9条がなかったときは、他人のために汗をかこう、場合によっては命の危険もあるかも知れないけど、そういう負担もせざるを得ないとやっていた」
（2012年3月5日）

「慰安婦制度が必要だった」

（2013年5月13日）

国内外から
批判が噴出

撤回も謝罪もせず

橋下市長の慰安婦発言に内外から、女性の人権をじゅうりんし、人間の尊厳をおかす国際的な戦争犯罪を肯定するものとの批判が噴出。ところが橋下市長は、いまだに撤回も謝罪もしていません。

堺市議会

市民・国民の人権を守るべき公人による暴言を放置することは、「日本国が国際的信用を失うこととなり、国益を大きく損ねることになりかねない」

姉妹都市のサンフランシスコ市議会決議

慰安婦制度を正当化する橋下市長の態度と発言を強く非難する

国連事務総長

国際社会は納得しない

アメリカ国務省

（橋下氏の発言は）常軌を逸した不快な発言